

地域の交流の場づくりマッチング

熊本県立人吉高等学校2年 地域連携 グループ探究活動

1. はじめに

令和2年7月豪雨災害により変わり果てた人吉球磨の風景を、私たちは目の当たりにしました。できるだけ早い復興ともう二度とこのような災害が起きないような対策を考え、少しでも故郷の力になりたいと思い私たちは人吉市復興計画に参加しました。私たちの班では、地域交流に目を向けて提言を行います。

温泉町の民生委員の方のお話より

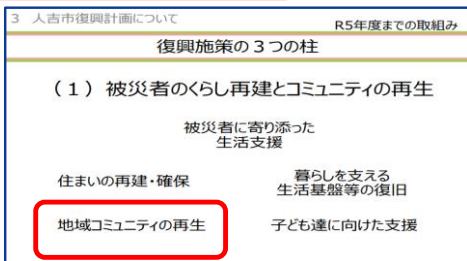
地域交流の場

- 以前：子ども会・婦人会・青年団
→地域の中で同世代の人たちとの交流が定期的にできていた
- 現在：子供会を始めとした
地域団体がなくなりつつある

ボランティア募集サイトの開設



2. 人吉市の現状



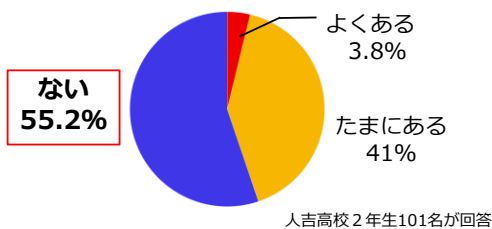
3. 人吉市の課題

地域コミュニティの衰退

6. 期待される効果

普段からの地域住民の交流が増えることで、地域活性化や普段からのコミュニケーションが生まれるため、災害のときに情報共有や集団避難ができるようになり、共助につながる。

Q. あなたは今住んでいる地域では、地域の人と定期的に交流する機会がありますか？



3. 提案内容

地域の人たち間でもっとコミュニケーションがとれたり、お互いのことをもっと知れたりできる機会を提供

地域の人達ともっと交流し繋がりを深める

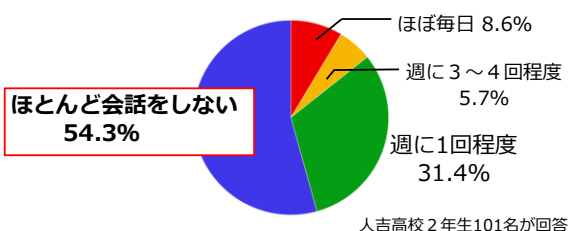
『共助』

7. 今後の課題

人吉市長さんの講評より
現在、熊本県の電話詐欺の件数のおよそ3分の1の被害額が人吉警察署管内でおきている。普段からの地域交流があると、相談し合えたり、呼びかけをすることができたりして、被害を防ぐことができるのではないかと。

松橋高校の生徒より
ボランティアサイトを見たり使ったりするツールやスキルがない人はどのようにするのかとの質問があったので、その点を改善する必要がある。

Q. あなたは今住んでいる地域（町内）の人とどのくらいの頻度で会話（挨拶を除く）をしますか？



4. 目的

一昨年の人吉豪雨災害 民生委員の方のお話より
避難するかどうかは自分たちの判断次第だったしかし、普段から早めの避難の呼びかけを徹底していたため、早期の避難を完了できた。

→ 普段からの交流を頻繁にし、災害時に地域住民で協力して避難できるようなまちづくりを行う。

8. さいごに

私たちは人吉市に提言するにあたって、今まで身近にあった課題に気づけていなかったことに気づきました。普段から自分の故郷である人吉市に少しでも目を向けることが、復興への一番の近道になると感じました。

人吉市社会福祉協議会の方のお話より

○現在、地域における福祉は総体的に充実したものとなっている。

○新たな地域福祉の課題

1. 地域形態変化への対応
2. 福祉人材の不足、高齢化
3. 重層的支援体制の整備

5. 具体的な方法

交流する場や機会の確保

- ・小中学生を対象とした学習会
 - ・民生委員の方の地域の見回り
 - ・高齢の方だけで行われている活動
- ボランティアまたは参加者として一緒に活動する

世代を超えたつながりへ

9. 参考文献及び謝辞

・人吉市復興計画（第1期）

一般財団法人ひとよし球磨青年会議所の職員の皆様、社会福祉法人人吉市社会福祉協議会の事務局長様、温泉町の民生委員様にこの取組に御協力いただきました。ありがとうございました。